

鑄造 CAE(常設)研究部会 委員募集

当研究部会は、1994年に鑄造方案研究部会として常設され、「鑄造方案ルールの見直しとコンピュータ利用」、「熱・流れ制御による鑄造方案の最適化」をサブテーマとして活動を開始しました。2001年9月からは鑄造 CAE 研究部会と改名して「鑄造 CAE による現象解明と最適化」を、2006年9月から「鑄造 CAE の活用と品質向上」を、2010年7月からは「鑄造 CAE の活用と高度化」を、2015年1月からは「鑄造 CAE の活用と最適化」をサブテーマとして活動してきました。湯流れ・凝固過程の予測計算に始まった鑄造 CAE も、今やその対象は鑄物・鑄型の変形予測や残留応力の計算、熱処理や中子砂の充てん予測など適応範囲が格段に広がっています。さらに、個別の現象のみならず、鑄造過程全体の最適化計算も視野に入れた取り組みがなされており、現在では鑄物形状・鑄造方案設計において、エンジニアリングツールとしてなくてはならない存在になりつつあります。新たな欠陥解析手法の研究開発、計算結果の検証と最適化も盛んに行われ、より現実的でより計算精度の高い方法が日々検討されています。

そこで、本研究部会では「鑄造 CAE による欠陥予測精度向上と最適化」をサブテーマとします。これまで同様に、鑄造法や材料種別にとらわれることなく、CAE(Computer Aided Engineering)の最新動向の調査、鑄造欠陥/不具合の予測手法、現象の可視化計測と DB の整備、計算精度の検証などについて幅広く研究討議や情報共有を行いながら、鑄造 CAE の更なる適応性拡大と最適化による実用性の向上について検討します。鑄造 CAE の最適化による高い実用性を目指す技術者、研究者の方々の参加をお願いします。

部会活動期間：2018年4月から3年間

構成委員数：約30名

部会長：三中西 信治（さんなかにし しんじ）

〒441-3114

愛知県豊橋市三弥町中原1-2

(株)アーレスティ テクニカルセンター

TEL:0532-65-2172 FAX:0532-65-2162 E-mail shinji.sannakanishi.e@ahresty.com

参加を希望される方は、2018年3月20日までに、部会長宛にお申し込み下さい。なお、部会委員は運営上経費の一部を負担していただくと同時に、部会での研究発表などの義務を負っていただくこととなります。